

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語ⅠA/German ⅠA						
担当教員	柿沼 伸明						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ドイツ語文法						
授業の概要	ドイツ語の発音とつづり字の関係からはじめて、基本的な動詞の現在人称変化とその例外、名詞の性の概念、定冠詞と不定冠詞の格変化、前置詞の用法などについて学ぶ。簡単な会話文を記憶する。						
到達目標	ドイツ語基本文法の習得						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ドイツ語とはどんな言語かの説明、発音とつづり字</li> <li>2) 発音練習、1～10の数</li> <li>3) 人称代名詞と動詞の現在人称変化（1）、平叙文と疑問文の語順</li> <li>4) 動詞の現在人称変化（2）</li> <li>5) 名詞の性と複数形</li> <li>6) 冠詞類＋名詞の格変化（1）</li> <li>7) 冠詞類＋名詞の格変化（2）</li> <li>8) 疑問詞を使った疑問文</li> <li>9) 動詞の現在人称変化（3）</li> <li>10) 動詞の命令形</li> <li>11) 前置詞と格支配（1）</li> <li>12) 前置詞と格支配（2）</li> <li>13) 総復習</li> <li>14) 質疑応答と試験</li> <li>15) 試験の答案返却と個別指導</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容）	習ったことの復習						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	小テスト20%、試験80%						
教科書	山本洋一「ドイツ語はやさしい（改訂版）」（白水社） ISBN: 978-4-560-01387-8						
参考書							

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IA/German IA						
担当教員	武田 良材						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	初級ドイツ語文法入門						
授業の概要	ドイツ語の初級文法をabcから始めて簡単な現在形の文章を扱えるところまで学びます。IBと合わせて初級文法をおおよそ学ぶこととなります。ドイツ語は英語と近い関係にある言語ですので、英語知識を援用することになりますが、新たに学ぶ言語として英語に苦手意識がある人にも配慮します。重要な文法事項と、初心者には重要でない事項とを区別し、効率的にドイツ語を身につけます。						
到達目標	名詞の性数格、動詞の現在人称変化を理解し、簡単な構文の現在形の文章を扱えるようになる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 辞書の選び方、文字と発音</li> <li>2. つづり字の発音、基数</li> <li>3. 人称代名詞と動詞の現在人称変化</li> <li>4. 重要不規則動詞の現在人称変化</li> <li>5. 人称変化の練習、語順</li> <li>6. 名詞の性、複数形</li> <li>7. 並列接続詞</li> <li>8. 定冠詞と不定冠詞の格変化</li> <li>9. 格の用法、疑問代名詞</li> <li>10. 人称代名詞の格変化</li> <li>11. 不規則動詞の現在人称変化</li> <li>12. 命令法</li> <li>13. 総復習</li> <li>14. 復習と試験</li> <li>15. 試験の答案の返却と個別指導、再試験</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業中に指定する練習問題、長文の読解をやってきてください。辞書をまめに引くよう心がけましょう。						
授業方法	講義。文法を解説し、出席者に練習問題をやってもらいます。暗記すべき重要項目については小テストを課す場合があります。						
評価基準と評価方法	受講態度（積極性、課題、小テスト）50%、試験 50%。 試験で一定の成果を示すことを合格の必須条件です。						
教科書	山本洋一 著『ドイツ語はやさしい』白水社、ISBN4-560-01387-X						
参考書	林＝メーナー エルケ他著『アルファベットの正しい書き方 ドイツ語を例にとって』上智大学出版、ISBN978-4-324-08416-8						

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IB/German IB						
担当教員	柿沼 伸明						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ドイツ語文法						
授業の概要	前期に学んだ事柄を確認しつつ、冠詞類の格変化、冠詞と形容詞と名詞などが組み合わさったときの格変化、分離動詞・非分離動詞、不定詞の用法、動詞の三基本形、話法の助動詞などを学ぶ。						
到達目標	簡単なドイツ語の文章を辞書を引いて読めること						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 前期の復習。簡単な文の発音練習と意味解釈</li> <li>2) 定冠詞類と不定冠詞類の格変化</li> <li>3) 冠詞類＋形容詞＋名詞の組み合わせの格変化</li> <li>4) 形容詞の用法。形容詞＋名詞の格変化</li> <li>5) 分離動詞と非分離動詞（1）</li> <li>6) 分離動詞と非分離動詞（2）</li> <li>7) 不定詞の用法</li> <li>8) 動詞の三基本形（不定詞・過去・過去分詞）</li> <li>9) 従属節詞に導かれる副文の語順</li> <li>10) 話法の助動詞（1）</li> <li>11) 話法の助動詞（2）</li> <li>12) 辞書を使ったドイツ文の読解練習</li> <li>13) 辞書を使ったドイツ文の読解練習</li> <li>14) 質疑応答と試験</li> <li>15) 試験の答案返却と個別指導</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容）	習ったことの復習						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	小テスト20%、試験80%						
教科書	山本洋一『ドイツ語はやさしい（改訂版）』（白水社）						
参考書							

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IB/German IB						
担当教員	武田 良材						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	初級ドイツ語文法						
授業の概要	ドイツ語の初級文法を過去の内容を表す簡単な文章を扱えるところまで学びます。IAと合わせて基礎的なドイツ語文法をおおよそ学ぶこととなります。ドイツ語は英語と近い関係にある言語ですので、英語知識を援用することとなりますが、新たに学ぶ言語として英語に苦手意識がある人にも配慮します。重要な文法事項と、初心者には重要でない事項とを区別し、効率的にドイツ語を身につけます。						
到達目標	名詞の性数格、動詞の現在人称変化を基本的に使いこなし、副文、話法の助動詞、過去形を理解し、簡単な長文の読解ができるようになる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2格、3格、4格支配の前置詞</li> <li>2. 3・4格支配の前置詞、前置詞と定冠詞の融合形</li> <li>3. 名詞の格変化練習</li> <li>4. 不定冠詞類</li> <li>5. 定冠詞類、形容詞語尾</li> <li>6. 分離動詞と非分離動詞</li> <li>7. zu不定詞句</li> <li>8. 動詞の三基本形</li> <li>9. 過去人称変化、従属接続詞</li> <li>10. 話法の助動詞</li> <li>11. 話法の助動詞の人称変化</li> <li>12. 完了形</li> <li>13. 総復習</li> <li>14. 復習と試験</li> <li>15. 試験の答案の返却と個別指導、再試験</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業中に指定する練習問題、長文の読解をやってきてください。辞書をまめに引くよう心がけましょう。						
授業方法	講義。文法を解説し、出席者に練習問題をやってもらいます。暗記すべき重要項目については小テストを課す場合があります。						
評価基準と評価方法	受講態度（積極性、課題、小テスト）50%、試験 50%。 試験で一定の成果を示すことを合格の必須条件です。						
教科書	山本洋一 著『ドイツ語はやさしい』白水社、ISBN4-560-01387-X						
参考書	橋本政義 著『あなただけのドイツ語家庭教師』国際語学社、ISBN978-4877315351						

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IC						
担当教員	武田 良材						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ドイツ語表現入門						
授業の概要	ドイツ語に耳と口を慣らします。定型の会話表現ならびに単語を学び、表現の背景にあるドイツ語圏の文化への理解も深めます。ドイツ語の音楽や映像コンテンツを通じて多くのドイツ語に触れると同時に、自信を持ってドイツ語を発音できるよう練習します。簡単な作文練習も行います。						
到達目標	簡単な自己紹介をする。他人の自己紹介を理解する。						
授業計画	第1回 文字と音、学習の仕方 第2回 文字の書き方、二重母音の発音 第3回 あいさつ 第4回 名前 第5回 出身1 第6回 Lektion1の補足 第7回 紹介 第8回 出身2 第9回 数1 第10回 数2 第11回 Lektion2の補足 第12回 勉強 第13回 授業 第14回 言語 第15回 Lektion3の補足、自己紹介						
授業外における学習（準備学習の内容）	発音練習を行なってください。						
授業方法	講義。全員に応答を求め、基本的なフレーズの発声練習を行います。ペアでのドイツ語会話、簡単な独作文、リスニングなどを行い、さらに受講者の関心に即して、単語の紹介や、文化の説明を行います。授業の最初にドイツ語の歌謡曲を紹介します。						
評価基準と評価方法	受講態度（積極性）50%、課題（口述課題、提出課題）50%。 期末試験は行いません。積極的参加と発音を特に評価します。						
教科書	佐藤修子 他著『Szenen 1 場面で学ぶドイツ語』三修社、ISBN978-4-384-12244						
参考書	林＝メーナー エルケ他著『アルファベットの正しい書き方 ドイツ語を例にとって』上智大学出版、ISBN978-4-324-08416-8						

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IC						
担当教員	武田 良材						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ドイツ語表現入門						
授業の概要	ドイツ語に耳と口を慣らします。定型の会話表現ならびに単語を学び、表現の背景にあるドイツ語圏の文化への理解も深めます。ドイツ語の音楽や映像コンテンツを通じて多くのドイツ語に触れると同時に、自信を持ってドイツ語を発音できるよう練習します。簡単な作文練習も行います。						
到達目標	簡単な自己紹介をする。他人の自己紹介を理解する。						
授業計画	第1回 文字と音、学習の仕方 第2回 文字の書き方、二重母音の発音 第3回 あいさつ 第4回 名前 第5回 出身1 第6回 Lektion1の補足 第7回 紹介 第8回 出身2 第9回 数1 第10回 数2 第11回 Lektion2の補足 第12回 勉強 第13回 授業 第14回 言語 第15回 Lektion3の補足、自己紹介						
授業外における学習（準備学習の内容）	発音練習を行なってください。						
授業方法	講義。全員に応答を求め、基本的なフレーズの発声練習を行います。ペアでのドイツ語会話、簡単な独作文、リスニングなどを行い、さらに受講者の関心に即して、単語の紹介や、文化の説明を行います。授業の最初にドイツ語の歌謡曲を紹介します。						
評価基準と評価方法	受講態度（積極性）50%、課題（口述課題、提出課題）50%。 期末試験は行いません。積極的参加と発音を特に評価します。						
教科書	佐藤修子 他著『Szenen 1 場面で学ぶドイツ語』三修社、ISBN978-4-384-12244						
参考書	林＝メーナー エルケ他著『アルファベットの正しい書き方 ドイツ語を例にとって』上智大学出版、ISBN978-4-324-08416-8						

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語ID						
担当教員	武田 良材						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ドイツ語表現初級						
授業の概要	ドイツ語に耳と口を慣らします。定型の会話表現ならびに単語を学び、表現の背景にあるドイツ語圏の文化への理解も深めます。ドイツ語の音楽や映像コンテンツを通じて多くのドイツ語に触れると同時に、自信を持ってドイツ語を発音できるよう練習します。簡単な作文練習も行います。						
到達目標	自分や他人をドイツ語で詳しく紹介する。他人の詳しい紹介を理解する。						
授業計画	第1回 文字の書き方、綴り字の発音 第2回 自己紹介（Lektion1から2までの復習） 第3回 勉強（Lektion3の復習） 第4回 趣味1 第5回 趣味2 第6回 趣味3 第7回 Lektion4の補足 第8回 食事1 第9回 食事2 第10回 食事3 第11回 Lektion5の補足 第12回 家族 第13回 職業 第14回 性格 第15回 Lektion6の補足、総まとめ課題						
授業外における学習（準備学習の内容）	発音練習を行なってください。						
授業方法	講義。全員に応答を求め、基本的なフレーズの発声練習を行います。ペアでのドイツ語会話、簡単な独作文、リスニングなどを行い、さらに受講者の関心に即して、単語の紹介や、文化の説明を行います。授業の最初にドイツ語のテレビ番組を紹介します。						
評価基準と評価方法	受講態度（積極性）50%、課題（口述課題、提出課題）50%。 期末試験は行いません。積極的参加と発音を特に評価します。						
教科書	佐藤修子 他著『Szenen 1 場面で学ぶドイツ語』三修社、ISBN978-4-384-12244						
参考書	林＝メーナー エルケ他著『アルファベットの正しい書き方 ドイツ語を例にとって』上智大学出版、ISBN978-4-324-08416-8						

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語ID						
担当教員	武田 良材						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	ドイツ語表現初級						
授業の概要	ドイツ語に耳と口を慣らします。定型の会話表現ならびに単語を学び、表現の背景にあるドイツ語圏の文化への理解も深めます。ドイツ語の音楽や映像コンテンツを通じて多くのドイツ語に触れると同時に、自信を持ってドイツ語を発音できるよう練習します。簡単な作文練習も行います。						
到達目標	自分や他人をドイツ語で詳しく紹介する。他人の詳しい紹介を理解する。						
授業計画	第1回 文字の書き方、綴り字の発音 第2回 自己紹介（Lektion1から2までの復習） 第3回 勉強（Lektion3の復習） 第4回 趣味1 第5回 趣味2 第6回 趣味3 第7回 Lektion4の補足 第8回 食事1 第9回 食事2 第10回 食事3 第11回 Lektion5の補足 第12回 家族 第13回 職業 第14回 性格 第15回 Lektion6の補足、総まとめ課題						
授業外における学習（準備学習の内容）	発音練習を行なってください。						
授業方法	講義。全員に応答を求め、基本的なフレーズの発声練習を行います。ペアでのドイツ語会話、簡単な独作文、リスニングなどを行い、さらに受講者の関心に即して、単語の紹介や、文化の説明を行います。授業の最初にドイツ語のテレビ番組を紹介します。						
評価基準と評価方法	受講態度（積極性）50%、課題（口述課題、提出課題）50%。 期末試験は行いません。積極的参加と発音を特に評価します。						
教科書	佐藤修子 他著『Szenen 1 場面で学ぶドイツ語』三修社、ISBN978-4-384-12244						
参考書	林＝メーナー エルケ他著『アルファベットの正しい書き方 ドイツ語を例にとって』上智大学出版、ISBN978-4-324-08416-8						



科目区分	外国語科目 (ドイツ語)						
科目名	ドイツ語IIA/German IIA						
担当教員	V. Grecko						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	ドイツ語初級文法						
授業の概要	すでに1年間ドイツ語を履修した学生を対象に、ドイツ語の基礎文法の確実な習得を目指します。さらに、日常的话题に関してドイツ語を聞き、話し、読み、書くために必要な基礎知識を定着させ、語彙を増やすことを目的とします。						
到達目標	ドイツ語の基礎文法を理解し、日常的なレベルでのドイツ語力をつけることを目標とします。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1年次で学習したことの復習</li> <li>2. 動詞の現在人称変化</li> <li>3. 不規則変化動詞の現在人称変化</li> <li>4. 定冠詞類の格変化</li> <li>5. 不定冠詞類の格変化</li> <li>6. 人称代名詞の格変化とその用法</li> <li>7. 前置詞の使い方 (1)</li> <li>8. 前置詞の使い方 (2)</li> <li>9. 形容詞の語尾変化</li> <li>10. 形容詞の名詞化</li> <li>11. 分離動詞と非分離動詞 (1)</li> <li>12. 分離動詞と非分離動詞 (2)</li> <li>13. 今学期のまとめ</li> <li>14. 今学期の復習と期末テスト</li> <li>15. テストの返却と答案のチェック</li> </ol>						
授業外における学習 (準備学習の内容)	<p>授業前学習：教科書に一度目を通してきてください。</p> <p>授業後学習：授業で学習したことをもう一度復習してください。文法や新出単語をしっかりと覚えるようにしましょう。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	期末テスト50%、小テスト50%						
教科書	山本洋一著『ドイツ語はやさしい』白水社、ISBN:978-4-560-01387-8						
参考書							

科目区分	外国語科目（ドイツ語）						
科目名	ドイツ語IIB/German IIB						
担当教員	V. Grecko						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	ドイツ語初級文法						
授業の概要	ドイツ語の基礎文法に関する知識を確実に習得するとともに、基礎的なドイツ語能力をのばすことを目標とします。						
到達目標	ドイツ語の基礎文法を理解し、日常的なレベルでのドイツ語力をさらにのばすことを目標とします。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前期の復習</li> <li>2. 動詞の三基本形</li> <li>3. 過去形</li> <li>4. 接続詞</li> <li>5. 話法の助動詞</li> <li>6. 現在完了形（1）</li> <li>7. 現在完了形（2）</li> <li>8. 未来形</li> <li>9. 受動態（1）</li> <li>10. 受動態（2）</li> <li>11. 関係代名詞（1）</li> <li>12. 関係代名詞（2）</li> <li>13. 今学期のまとめ</li> <li>14. 今学期の復習と期末テスト</li> <li>15. テストの返却と答案のチェック</li> </ol>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：教科書に一度目を通してきてください。</p> <p>授業後学習：授業で学習したことをもう一度復習してください。文法や新出単語をしっかりと覚えるようにしましょう。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	期末テスト50%、小テスト50%						
教科書	山本洋一著『ドイツ語はやさしい』白水社、ISBN:978-4-560-01387-8 適宜プリントも使用します。						
参考書							

科目区分	外国語科目 (ドイツ語)						
科目名	ドイツ語II C / German II C						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	ドイツ語会話						
授業の概要	ドイツ語II Cでは教科書「Szenen I」を使用し、第7課(持ち物)、第8課(住居)、第9課(時刻と日付)を扱います。授業では単独、ペア、あるいはグループで練習します。話すこと、読むこと、理解することを練習するため、規則正しく積極的な授業への参加が必要です。教材をマスターし、使えるようになるためには、もちろん家での学習や宿題をすることも必要ですが、大事なのは授業での練習です。						
到達目標	ドイツ語で自分の持ち物と住まいと時刻と日付について簡単に説明する。						
授業計画	教科書に沿って授業を行います。各Lektionに約4週間かかります。 第1回: 1年めの復習 第2回: Lektion 7-Dialog 1 & 2 (傘はドイツ語で何といいますか) 第3回: Lektion 7-Dialog 3 & 4 (DVDプレーヤーを持っていますか) 第4回: Lektion 7-Dialog 5, Übung (この指輪をどう思いますか) 第5回: Lektion 7-練習とテスト 第6回: Lektion 8-Wohnen & Zimmer (ミュラーさんの住宅) 第7回: Lektion 8-Übungen, (パウルの部屋、前置詞) 第8回: Lektion 8-Dialog 1 & 2 (ご両親とお住まいですか) 第9回: Lektion 8-練習とテスト 第10回: Lektion 9-Dialog 1, (時間と時計) 第11回: Lektion 9-Dialog 2 & 3 (何時に起きますか) 第12回: Lektion 9-Dialog 4 (今日は何日ですか) 第13回: Lektion 9-まとめと復習 第14回: 復習と学期末テスト 第15回: テストの返却						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業に出てくる新しい単語は予習しておくこと。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	評価は期末テスト 20%、小テスト(2) 20%、クラスでの練習 60% を総合して評価する。						
教科書	佐藤修子・下田恭子・Heike Papenthin・Gesa Oldehaver 著者 Szenen 1 場面で学ぶドイツ語 三修社 ISBN 4-384-12244-6						
参考書							

科目区分	外国語科目 (ドイツ語)						
科目名	ドイツ語IID/German IID						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	ドイツ語会話						
授業の概要	ドイツ語IIDでは教科書「Szenen I」を使用し、第10課(週末の後)、第11課(街と大学)、第12課(休暇の前)を扱います。授業では単独、ペア、あるいはグループで練習します。話すこと、読むこと、理解することを練習するためには、規則正しく積極的な授業への参加が必要です。教材をマスターし、使えるようになるためには、もちろん家での学習や宿題をすることも必要ですが、大事なものは授業での練習です。						
到達目標	ドイツ語で過去のことを話す。道の案内する。行き先と自分の予定を簡単に説明する。						
授業計画	教科書に沿って授業を行います。各Lektionに約4週間かかります。 第1回:前期の復習 第2回:Lektion 10-Dialog 1 (週末何しましたか?) 第3回:Lektion 10-Übungen (現在完了系) 第4回:Lektion 10-Dialog 2 & 3 (キャンプをしたことありますか?) 第5回:Lektion 10-Dialog 4 & 5 (どうでしたか?) 第6回:Lektion 10-練習とテスト 第7回:Lektion 11-Dialog 1 & 2 (ここをまっすぐ行って下さい) 第8回:Lektion 11-Dialog 3 (大学への交通手段は?) 第9回:Lektion 11-Dialog 4 & 5 (講演はどこで行われてますか?) 第10回:Lektion 11-練習とテスト 第11回:Lektion 12-Dialog 1 & 2 (休日中何をするつもりですか?) 第12回:Lektion 12-Übungen (前置詞) 第13回:Lektion 12-Dialog 3, 4 & 5 (夏にはどこへ行こうか?) 第14回:復習と学期末テスト 第15回:テストの返却						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業に出てくる新しい単語は予習してくる。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	評価は期末テスト 20%、小テスト(2) 20%、クラスでの練習 60% を総合して評価する。						
教科書	佐藤修子・下田恭子・Heike Papenthin・Gesa Oldehaver 著者 Szenen 1 場面で学ぶドイツ語 三修社 ISBN 4-384-12244-6						
参考書							